

パイン#9031S

1. 系統 弱溶剤型ふっ素樹脂系上塗塗料
2. 特徴
- 1) 耐候性・光沢保持性に優れる。
 - 2) 付着性・可撓性・耐薬品性に優れる。
 - 3) 弱溶剤型であり、様々な種類の下塗塗料・中塗塗料への塗重ねが可能。
3. 用途
- 1) 送電鉄塔などの溶融亜鉛めっき鋼製の構造物の防錆塗装用上塗。
 - 2) 各種プラント設備、一般鋼構造物の防錆塗装用上塗。

4. 塗料性状

項目	内容				
容 姿	2 液性(主剤+硬化剤)				
荷 姿	16kg セット・4kg セット				
色 相	各色				
光 沢	つや有				
密度 (23℃)	塗料	1.22(白・淡彩色の主剤・硬化剤混合物の標準)			
	揮発分	0.80			
加熱 残 分	63wt%(白・淡彩色)				
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	2 時間	1.5 時間	1 時間	30 分
	半硬化	16 時間	12 時間	8 時間	6 時間
標準膜厚	30 μm				
引 火 点	SDS参照				
発 火 点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				
貯蔵安定期間 (20℃)	12 ヶ月				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- (1) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌し均一な状態で塗装する。主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間内に使いきる。
- (2) 被塗面の油脂、湿気、じんあいなどの有害な付着物は完全に除去する。
- (3) 希釈にはパイン#9000M溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- (4) 使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- (5) 硬化剤は空気中の水分を吸収して固化するため、主剤・硬化剤ともに容器を密閉し乾燥した冷暗所に保管する。
- (6) 取扱い上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

5. 塗装基準

項目	内容				
下 地 処 理	-				
調 合 法	主剤:90部/硬化剤:10部(重量比)				
熟 成 時 間	-				
可 使 時 間	5℃	10℃	20℃	30℃	
	6 時間	5 時間	5 時間	3 時間	
塗 装 方 法	エアレス塗装、刷毛・ローラー塗り				
使用シンナー	パイン#9000M溶剤				
塗 装 方 法	塗 装 方 法	エアレス塗装		刷毛・ローラー塗り	
	希 釈 率	10~20wt%		5~10wt%	
	標準使用量*	0.15kg/m ²		0.12kg/m ²	
	標準膜厚	30 μm		30 μm	
	ウェット管理膜厚	75 μm		75 μm	
エアレス塗装条件	1 次 圧 0.4~0.5MPa (4~5kg/cm ²)				
	2 次 圧 11~15MPa (110~150kg/cm ²)				
	チップ No. 163-515~615				
塗 装 間 隔	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	最小	24 時間	20 時間	16 時間	12 時間
	最大	7 日			5 日

※ 標準使用量

刷毛・ローラー塗り:[理論塗布量 0.09kg/m²]×[1.3(ロス率 30%)]→0.12kg/m²
 エアレス塗装:[理論塗布量 0.09kg/m²]×[1.7(ロス率 70%)]→0.15kg/m²

7. 適合する塗料

下塗:パイン#8011S, パイン#7017T 他

8. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有	第3種有機溶剤含有
有害物質表示	キシレン、エチルベンゼン	-
劇物表示	-	-
硬化剤表示	-	イソシアネート化合物

9. 使用上の注意【警告】

- (1) 引火性の液体である。
- (2) 有機溶剤中毒の恐れがある。
- (3) 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

中電工業株式会社 工事本部 (塗料担当)

〒734-0001 広島市南区出汐2丁目3番24号 Tel:082-255-2131 Fax:082-255-2251